

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	春日由広
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	大和天神山古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	2009年(平成21)3月31日				
所在地	天理市柳本町1898の一部、1898の3				
所有者 管理者	伊射奈岐神社				
員数	1基				
時代区分	古墳時代前期(3世紀前半から4世紀前半)				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	あり				
公開	自由に見学できる。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	特に無い。これ以上の破壊は無いと思われる。墳丘の東半分は道路工事により消失し、北西側に伊射奈岐神社が文明年間(1469~87)に鎮座している。1960年(昭和35)に竪穴式石室発掘調査が行われ、銅鏡23面、鉄製品16点、土器片(以上県文化財)が奈良国立博物館に保管され、木棺(県文化財)が奈良県立橿原考古学研究所付属博物館に保管されている。				
今後の課題	国道169号線から見ると、案内板が無かったら「森」と勘違いをしそうである。開発と保存を両立させる難しさを感じる古墳である。柳本古墳群は行燈山古墳と洪谷向山古墳と中心に狭い範囲に古墳が近接して造られているので、大和天神山古墳のみならず周囲の各古墳の情報発信を強化し、柳本古墳群全体の保存継承を希望する。				
その他 (由緒など)	大和天神山古墳は全長約103mの前方後円墳で前方部を南に向ける。1960年(昭和35)に国道169号線工事によって墳丘の東半分が削られたので、それを機に発掘調査が行われた。石室は天井石を使用しない合掌式の竪穴式石室だったため、上部の崩落で底部が幸運にも守られて当時の状態がそのまま現れた。木棺内部から41kgの水銀朱が出土した。被葬者を埋葬した形跡は無かった。				
コメント	貴重な副葬品が発見され重要な位置づけにある古墳だが、東半分が国道169号線により消失し、北西側が伊射奈岐神社の境内となっている。参道から見える墳丘が前方後円墳の名残をわずかに残しているだけで、嘆かわしい状態となっている。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

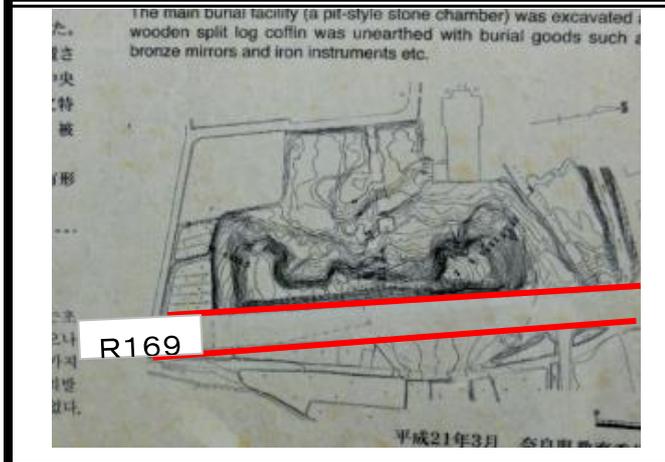
調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	春日由広
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	大和天神山古墳
------	---------

案内板	説明板
-----	-----



説明板	伊射奈岐神社入口
-----	----------



伊射奈岐神社の参道から撮影した後円部	奥が後円部、手前が前方部
--------------------	--------------

